



マカオ政府観光局 ニュースリリース

Macao Government Tourism Office-Japan | News Release

関係者各位

2020年9月7日

マカオ政府観光局 ポルトガル料理店「マヌエル」でフェア開催

マカオ政府観光局は、マカオ・タイパ地区に本店を構えるポルトガル料理店「オー・マヌエル」が日本で提携する「マヌエル」（マヌエル四ツ谷 カーサ デ ファド）で、本日9月7日（月）から11月30日（月）まで「シティ・オブ・ガストロノミー マカオ美食フェア」を実施します。

マカオは、東西文化融合の歴史に育まれた「マカオ料理」とその独特な食文化が評価され、2017年にユネスコ食文化創造都市として認定されました。今回のフェアでは、代表的なマカオ料理をマヌエル風アレンジしたディナーメニューを提供、ランチのテイクアウトメニューでもマカオの味が楽しめます。さらに店頭では期間中、マヌエルおよびマカオ政府観光局公式 SNS アカウントをフォローしていただいた方に先着でマカオオリジナルグッズをプレゼントする SNS キャンペーンも同時開催します。また、新型コロナウイルスの影響により海外渡航が制限されるなか、マカオへの旅気分を味わっていただこうと、店内ではデジタルサイネージやパネル装飾、メニューやパンフレットなどのツールを設置。ガストロノミー・シティであるマカオの食文化の周知を図り、旅先としてのマカオの魅力も合わせて訴求します。

マカオ政府観光局 「シティ・オブ・ガストロノミー マカオ美食フェア」

期間：2020年9月7日（月）～11月30日（月）

実施店舗： マヌエル 四ツ谷／カーサ デ ファド
ランチ（テイクアウトのみ）11:30～14:00
ディナー 18:00～22:00（L.O. 20:30）

※新型コロナウイルス感染症対策措置のため、営業時間が変更となる場合がございます。

ディナー例： スパイシーアフリカンチキン マカオ風 2,200円
マカオ風ミンチライス 1,200円
ソフトシェルシュリンプのスパイシーマリネ 900円

◆マカオの食文化

大航海時代、ポルトガル人は東への貿易航路を開拓、寄港地であるアフリカ、東南アジアの食材や食文化をマカオに持ち込みました。その後、暮らしのなかで地元の中国料理やその調理法などと融合し「マカオ料理」が誕生。東西融合の歴史と文化が味覚に反映された「マカオ料理」は、まさに大航海時代の味と言えます。

◆マヌエル

日本初の本格ポルトガル料理店。本店は1992年マカオ・タイパ地区に創業の「O Manuel Cozinha Portuguesa」。日本においてはカジュアルからファイン・ダイニングまで、異なったスタイルの4店舗を展開。（詳細：<http://www.pj-partners.com/manuel/>）

本件に関するお問い合わせは以下まで

マカオ政府観光局 武藤・市村・斉藤

Tel: 03-5275-2537 Fax: 03-5275-2535 Email: macaopr@milepost.co.jp



@macaotourism.jp



@macaotourism_jp



@macao_japan



マカオ政府観光局【公式】